

Yumemi's original coordination

1. Prologue

インターンシップでブライダルを経験を多くさせていただき、お客様の思いを大切に
して、素敵な会場づくりを常に心がけること、効率の良さを考えて行動すること、体力
が必要であることなど多くを学んだ。より多くの人に花の良さを広め、癒しを届けたい
と思い、一人前のフラワーコーディネーターになりたいと思った。

4月からブライダル業界で働き始めるにあたり、卒業制作ではブーケ制作の経験を積
み、自分のイメージした空間を制作する技術の向上を目指すため「Yumemi's original
coordination」と題して、今の実力を把握し、作品を記録として残すこととした。

2. Production work

(1) Wedding in the forest

(2) Southern country

3. Epilogue

テーマに沿って花材からデザインまで全てを設定し、課題に取り組み、会場装飾、ブ
ーケのプロデュースする貴重な経験をすることができた。一つ一つの作品に懸命に取り
組み、学ぶことが多くあった。

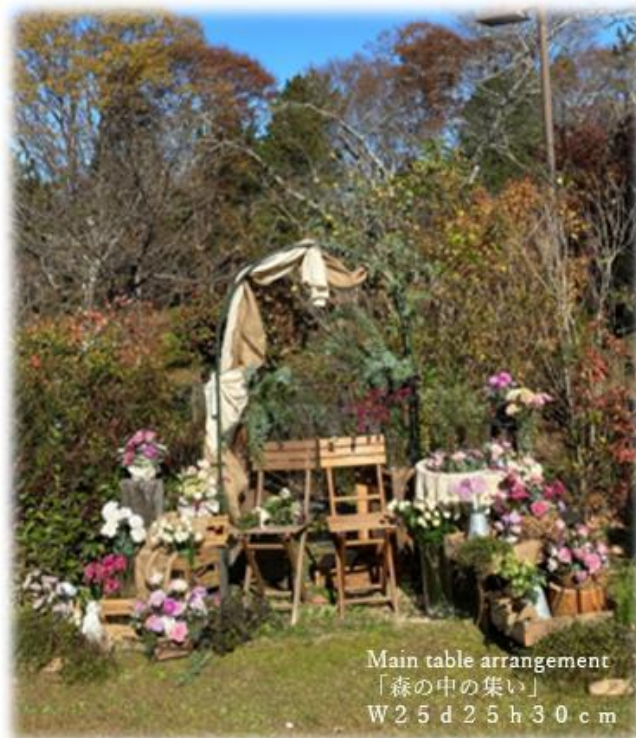
制作では、違和感を感じながらも何に違和感があるのかすぐに気づくことができなかつ
た。ブーケやアレンジメントを挿すことができて一つ一つの花の特徴を活かすこと
ができなかった。色や花合わせ、凹凸の付け方や花の向きなど多くの技術が足りず、自
分の納得いく制作に至るまで何日もかかってしまった。しかし、何回も作り直すことによ
ってたくさんの引き出しを増やすことができ、自分の納得いく制作を行うことができ
た。その中で、改めて花材選びはとても大切だと感じた。一つ一つの花がどれだけ美し
くても花の組み合わせ方や制作の仕方によって花材の見え方が変わると感じた。色や形
だけでなく質感にもこだわり、花の特性を活かすことの大切さを学んだ。授業ではいつ
も用意された花材を使用していたが、卒業制作では自分で使用する花材を自分で選ぶた
め、仕入れの大切さも知ることができた。使用したい花材がどのような特徴があり、市場
に出回る時期がいつなのか旬はいつなのか価格はいくらなのか仕入れする上で知らな
いことが多く、知識が足りないことを痛感した。

今回は金額を設定しなかったが、実際の結婚式ではお客様の予算内でお客様のご期待
以上の制作を行わないといけない。花材の量を予算内に収めるため、ボリュームを出す
技術や花材選びで花一本一本の大切さを感じた。効果的に花一本の特徴に意識を向け、
最大限に活かす方法など技術をもっと向上させなければならないと感じた。

また、卒業制作で「Yumemi's original coordination」と題して作品集をまとめる
にあたり、自分のイメージしたものを言葉で伝える難しさを知った。雰囲気合った撮
影場所や花の向きやサイズ感そして光などにこだわって撮影した。また、作品をまと
めるにあたり、興味を持ってもらえる様なネーミングの重要性を知ることができた。

卒業後は、内定先のブライダル業界で働くため、卒業制作で学んだことを活かしてより多くの知識を向上させ、フラワーコーディネーターとして活躍していきたい。

(1) Wedding in the forest



(2) Southern country

